

1. 公益財団法人那珂川沿岸土地改良基金協会 平成28年度 事業報告書

I. 事務事業の実施状況について

- (1) 収入の部については、事業活動収入予算額 248,840,000円 に対して 249,757,223円 (基本財産運用収入 12,041,800円、負担金収入 143,570,000円、補助金等収入 8,787,600円、特定資産運用収入 85,321,831円、雑収入 35,992円)の収入決算となった(917,223円の収入増)。
- (2) 支出の部については、特定資産積立として予算額 216,184,000円に対して 217,196,784円 (国営事業積立金 216,675,633円、退職給付積立金 521,151円)の積立をした(1,012,784円の積立増)。
また、事業費、管理費、雑支出、予備費は予算額 65,447,090円 に対して 支出額は 32,022,722円 であり、33,424,368円の支出減となった。
なお、事業活動収入計と事業活動支出計の差である当期収支差額は 537,717円となり、前期繰越収支差額 32,791,090円 を合わせ 33,328,807円 を次期繰越とした。

II. 法人の運営状況について

(1) 会議・研修会等の開催

区分	年月日	開催場所	内容
1 監査	H28. 5. 9	基金協会事務所	平成27年度 決算監査
2 第14回 理事会	H28. 5. 12	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	①平成27年度 事業報告及び決算について ②第10回評議員会について
3 第10回 評議員会	H28. 5. 25	ワークプラザ 勝田	①平成27年度決算について ②理事・監事の選任について
4 第15回 理事会	H28. 6. 3	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	理事長・副理事長・常務理事の選定について
5 平成28年度 県出資法人等 経営評価	H28. 7. 22	県庁18階 行政監察室	県より、目的適合性、計画性、組織運営健全性、効率性、財務健全性についての検査(概ね良好)
6 畑かん営農モデル地区 現地研修会	H28. 8. 10	飯富岩根地区・中央管理所・御前山ダムほか	畑かん機材実演会・関連施設の現地研修 参加者：70名
7 畑かん営農モデル地区 現地研修会	H28. 9. 29	成田食品栃木工場・清原南部地区(栃木県)	業務用、加工用(野菜)食品製造状況及び県営畑総事業導入後の営農効果の現地研修 参加者：68名
8 中間監査	H28. 10. 21	基金協会事務所	平成28年度 中間監査
9 那珂川沿岸農業水利事業に係る償還対策検討会	H28. 10. 25	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	検討会の設置について(規程・構成員) 今後の検討課題について
10 平成28年度 実地検査	H28. 11. 16	基金協会事務所	県より、中期計画に基づく事業執行や基金の運用等についての検査(特に指摘無し)
11 公益認定法に基づく立入検査	H28. 11. 16	基金協会事務所	県より、公益法人認定法に基づく運営組織及び事業活動状況等の立入検査(特段の問題は認められず)
12 第2回 那珂川沿岸農業水利事業に係る償還対策検討会	H28. 11. 26	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	資金の現状と運用について 地元負担額について 事業工期について
13 那珂川沿岸地域用水営農推進講演会	H28. 12. 7	水戸市公設地方卸売市場	演題「明日を築く畑地経営と畑地かんがい」 講師 DABアグリ研究所代表・岩手大学名誉教授 木村 伸男 氏
14 第3回 那珂川沿岸農業水利事業に係る償還対策検討会	H29. 1. 27	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	検討課題の確認について 課題に対する検討会構成員の意見について
15 第16回 理事会	H29. 2. 14	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室	①平成28年度 収入支出変更予算について ②平成29年度事業計画及び予算について ほか計7議案

(2) 資産の状況

① 基本財産	600,000,000	円 (額面)	: 有価証券 国債 4本
② 運用財産	5,767,000,000	円 (額面)	: 有価証券 国債16本
合計	6,367,000,000	円	

※詳細は、決算書注記「満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益」のとおり

(3) 那珂川沿岸用水営農の推進

① 畑かん営農モデル地区現地研修会の開催

目的 那珂川沿岸に係わる市町村の農業振興や、農業用水を活用する畑地かんがい営農について先進事例を研修し、今後の営農推進活動に繋げる。

①-1

開催日	平成28年8月10日
研修地等	那珂川沿岸地区内 畑総飯富岩根地区・中央管理所・御前山ダム・畑総柳河地区 (水戸市・常陸大宮市ほか) 畑かん機材実演会・関連施設の現地研修
参加者	受益農家、関係市町村担当者、国・県担当者 計70名

成果

散水機材の実演、国営造成施設の揚水機場工事の進捗状況、ダム管理と貯水状況、畑総地区における区画整理実施状況と整地後の野菜作付け状況の内容について、活発な意見交換が行われ、本事業地区の畑地における産地化推進に大きく寄与した。

①-2

開催日	平成28年9月29日
研修地等	成田食品栃木工場・清原南部土地改良区((栃木県真岡市・宇都宮市) 業務用加工用(もやし・カット野菜)食品製造状況・県営畑総事業導入後の 営農効果の現地研修
参加者	受益農家、関係市町村担当者、国・県担当者 計68名

成果

成田食品研修では、工場搬入時の野菜の規格やカット野菜の消費者ニーズに関する意見交換等。清原南部土地改良区では、企業参入の現状や、イベント資金の調達方法に関する意見交換が行われ、那珂川沿岸地域の農業振興や産地化推進に大きく寄与した。

② 那珂川沿岸地域用水営農推進講演会の開催

目的 那珂川沿岸地域受益農家及び関係市町村担当者を対象に、畑地かんがい営農実現への意欲を高めるとともに、那珂川沿岸農業水利事業に対する意識の高揚と農業者に対する啓発普及を図る。

開催日	平成28年12月7日
会場 演題 講師	水戸市公設地方卸売市場 「明日を築く畑地経営と畑地かんがい」 DABアグリ研究所代表・岩手大学名誉教授・(一社)畑地農業振興会理事 木村伸男氏
参加者	受益農家、関係市町村担当者、国・県担当者 計70名

成果

講演は、畑かん導入地域の農業現況を分析した上で、家族経営から法人経営へと転換期を迎えた現代農業に必要なこと等、貴重な助言を頂く講演となり、受講者の畑かん営農実現への意欲に繋がった。また、会場に併設した展示ブースでは、畑かん機材メーカー3社による畑かん用機材展示等を行った。多くの出席者が講演前後に見学し、意見交換が行われ、畑地かんがいに対する啓発が図られた。

③ 畑かん営農モデル展示事業の実施

畑地かんがいのかん水効果を把握するため、かん水区と無かん水(天水のみ)区を設定し、かん水効果の実証調査を実施した。

また、暫定水源として三美地区に設置してある給水スタンドの利用状況を調査した。

a. かん水・無かん水の生育収量調査 8地区で9作目実施

対象作目	アスパラガス	ニンジン	ねぎ	こまつな
圃場位置	城里町 増井	水戸市 加倉井町	常陸大宮市 三美	水戸市 岩根町

対象作目	加工かんしょ	ショウガ	陸 稲	露地なす	とうもろこし
圃場位置	常陸大宮市 三美	城里町 上入野	水戸市 飯富町	水戸市 飯島町	ひたちなか市 中根

b. 給水スタンド利用状況調査

設置位置：常陸大宮市三美（三美地区）

計123回(計210m³)の利用確認

当調査内容は、今後の畑かん営農の啓発のための基礎資料として活用していく。

(4) 機 構

評議員数(9)		役員数(19)					事務局(3)		
市町村	県	16(団体役員1,市町村13,県2)			3(市2,県1)		事務局長	次長	主任
		理事長	副理事長	常務理事	理事	監事			
8	1	1	3	1	11	3	1	1	1

[関係市町村]

4市3町1村（水戸市, ひたちなか市, 常陸大宮市, 那珂市, 茨城町, 大洗町, 城里町, 東海村）